

MATCH DAY PROGRAM

Jリーグ YBC ルヴァンカップ 1stラウンド 第2回戦

4.17 WED
19:00 Kick off
vs FC東京



2024 J.LEAGUE
YBC Levain CUP

new
14

MF14 RYOHEI WAKIZAKA
脇坂 峻平



Y.S.C.C. PLAYERS

1 GK  佐川 亮介 1993.7.17 出身地：東京都 前所属：拓殖大	2 DF  花房 稔 1996.7.30 出身地：東京都 前所属：国士舘大	3 DF  藤原 拓也 1992.12.18 出身地：徳島県 前所属：ガイナレ鳥取	4 MF  土館 賢人 1992.8.23 出身地：神奈川県 前所属：いわてグルージャ盛岡	5 DF  大嶋 春樹 2000.7.11 出身地：兵庫県 前所属：中京大	6 MF  田場 ディエゴ 1996.5.31 出身地：神奈川県 前所属：国士舘大	7 MF  菊谷 篤資 1997.6.18 出身地：千葉県 前所属：FCバイエルンアルヴェナウ	8 MF  柳 雄太郎 1995.9.18 出身地：千葉県 前所属：明海大
9 FW  萱沼 優聖 1993.8.6 出身地：山梨県 前所属：ヴァンラーレ八戸	10 MF  山本 凌太郎 1998.12.7 出身地：千葉県 前所属：横浜FC	11 FW  ピーターセン 世稔 1997.12.12 出身地：東京都 前所属：慶應義塾大	13 FW  ルクマン ハキム 2002.3.5 出身地：マレーシア 前所属：KVコルトレイク	14 MF  脇坂 峻平 1998.12.27 出身地：神奈川県 前所属：新潟医療福祉大	15 MF  富士田 康人 2000.12.16 出身地：福岡県 前所属：日本体育大	17 DF  端野 拓馬 2002.2.18 出身地：神奈川県 前所属：上武大	18 MF  藤島 樹騎也 1996.8.26 出身地：三重県 前所属：FCマルヤス岡崎
19 DF  ヴァンイヤーデン ショーン 2004.4.16 出身地：神奈川県 前所属：横浜FC	20 MF  大竹 悠聖 2000.7.13 出身地：熊本県 前所属：桐蔭横浜大	21 GK  高橋 クリス 2002.1.11 出身地：埼玉県 前所属：東京23FC	22 MF  大竹 優心 2005.7.17 出身地：新潟県 前所属：アルビレックス新潟	23 MF  道本 大飛 1998.12.6 出身地：神奈川県 前所属：Y.S.C.C. セカンド	25 DF  西山 峻太 1989.7.25 出身地：神奈川県 前所属：国士舘大	26 DF  大越 寛人 2000.9.19 出身地：埼玉県 前所属：桐蔭横浜大	27 DF  山倉 渉 2005.7.17 出身地：東京都 前所属：アルビレックス新潟U-18
30 MF  小島 秀仁 1992.7.30 出身地：栃木県 前所属：ジェフユナイテッド千葉	31 GK  岡本 享也 1995.5.17 出身地：神奈川県 前所属：FC岐阜	32 FW  松村 航希 1996.5.24 出身地：兵庫県 前所属：藤枝MYFC	33 MF  橋本 陸斗 2005.4.2 出身地：東京都 前所属：東京ヴェルディ	39 MF  奥村 晃司 1998.7.29 出身地：埼玉県 前所属：ザスパクサツ群馬	50 MF  中里 崇宏 1990.3.29 出身地：東京都 前所属：鎌倉ポインテッターズ	67 FW  オニエ オゴチュクワ プロミス 2002.3.13 出身地：ナイジェリア 前所属：高知中央高校	

MATCH PREVIEW

新たな歴史を。YSが全てをぶつける時が来た。

2024年3月6日はY.S.C.C.というクラブにとって歴史が動いた1日となった。JリーグYBCルヴァンカップ1stラウンド1回戦で水戸と対戦したY.S.C.C.は、67分に松村 航希が奪った得点を守り切って勝利。カテゴリーが上のチームに対して白星を勝ち取り、ニッパツ三ツ沢球技場は歓喜の渦に包まれた。

2回戦で対戦するのは、さらに上のカテゴリーとなるJ1に位置するFC東京だ。同クラブは13日に行われた明治安田J1第8節で東京Vと激突。16年ぶりとなるJ1での“東京ダービー”開催に味の素スタジアムは大熱狂。10人での戦いを強いられていたFC東京が90+4分に遠藤 渓太の得点で追いつく。2点ビハインドから同点にし、「東京は青赤」という意地をなんとか見せてアウェイゲームを終えている。ピーター クラモフスキー監督が試合後、「選手たちは戦士のような素晴らしいメンタリティーを出してくれた」と話したように、この一戦を機にチームの士気はさらに上がっている。

一方のY.S.C.C.はJ3第8節・讃岐戦までの2連勝から、大宮、金沢と昨季J2にいたチームとの連戦を迎えた。前者との対戦では0-1の惜敗に終わったものの、アウェイながら800人以上が詰めかけた相手サポーターの圧や、一つひとつのプレーに質の高さを見せつけられる形に。試合を終えてからも選手たちは口をそろえて「強かった」と語っていた。続いた後者とのアウェイゲームでは1-3の完敗。しかし、「勝利が必須」という高いプレッシャーを抱えながら戦ってきたチームのメンタリティーには、黒星を喫しながらも得るものは多かったはず。強豪との2試合が、FC東京との一戦に向けての布石になったことは間違いない。

すでに大番狂わせを起こしたY.S.C.C.にとって、失うものはない。クラブ史に新たなページを刻むべく、選手たちの闘志は燃えたぎっている。ニッパツで次のドラマを起こす舞台は整った。巨大な“青赤のハードル”を越えることはできるか。

F C 東京



ルヴァンカップの情報はこちら



監督：ピーター クラモフスキー

- | | | |
|------------------|--------------------|-----------------|
| 1 GK 児玉 剛 | 43 DF 徳元 悠平 | 33 MF 俵積田 晃太 |
| 13 GK 波多野 豪 | 44 DF エンリケトレヴィザン | 37 MF 小泉 慶 |
| 31 GK 小林 将天 | 49 DF バングーナガンデ 佳史扶 | 38 MF 安斎 颯馬 |
| 41 GK 野澤 大志ブランドン | 50 DF 東 廉太 | 40 MF 原川 力 |
| 51 GK 後藤 亘 | 99 DF 白井 康介 | 48 MF 荒井 悠汰 |
| 2 DF 中村 帆高 | 7 MF 松木 玖生 | 70 MF ジャジャ シルバ |
| 3 DF 森重 真人 | 8 MF 高 宇洋 | 71 MF 荒木 遼太郎 |
| 4 DF 木本 恭生 | 10 MF 東 慶悟 | 9 FW ディエゴオリヴェイラ |
| 5 DF 長友 佑都 | 17 MF 寺山 翼 | 11 FW 小柏 剛 |
| 30 DF 岡 哲平 | 22 MF 遠藤 渓太 | 14 FW 山下 敬大 |
| 32 DF 土肥 幹太 | 23 MF 佐藤 龍之介 | 28 FW 野澤 零温 |
| | | 39 FW 仲川 輝人 |

スタジアム案内



TODAY'S EVENT

17:00~18:00

ルヴァンカップキッズイレブン

【場所】ホームゴール裏タータンにて実施



「ルヴァンカップキッズイレブン

Y.S.C.C.といっしょにファイナルを目指そう！」を開催！

18:15頃

サインボール投げ

【場所】メインスタンド・ホームゴール裏



ピッチ内アップ入場時に選手が
サインボールを投げ込みます

GOURMET



South denim Kitchen



あぶり屋



ぼすてりきっちん



JEST KEBAB



富貴包子楼



キッチン樹



ごっさむ

GOODS INFOMETION

Y.S.C.C. 選手缶バッジ 2024

全31選手 1回300円

HONMOKU Y.S.C.C. YOKOHAMA

Y.S.C.C. アクリルキーホルダー ガチャ

グッズ売店に設置 全32選手 1回 500円

Y.S.C.C. YOKOHAMA タオルマフラー 1,650円

Y.S.C.C. HONMOKU YOKOHAMA

Y.S.C.C. 戦集中 PRIDE AND TRADITION

ツインメガホン 1,400円

フラッグLサイズ 2,900円

Y.S.C.C. HONMOKU YOKOHAMA



一第4節 HOME
 ニッパツ三ツ沢球技場
3.16 土
 vs FC今治 14:00kick off

一第8節 AWAY
 Pikaraスタジアム
4.7 日
 vs カタマーレ園城 14:00kick off

一第12節 AWAY
 ミクニワールドスタジアム北九州
5.3 金・赤
 vs ギラヴァンツ北九州 14:00kick off

一第16節 AWAY
 長野Uスタジアム
6.8 土
 vs AC長野パルセイロ 18:00kick off

一第1節 HOME
 ニッパツ三ツ沢球技場
2.25 日
 vs カターレ富山 14:00kick off

一第5節 AWAY
 タビック黒鷲ひやこんスタジアム
3.20 水・赤
 vs FC琉球 15:00kick off

一第9節 HOME
 ニッパツ三ツ沢球技場
4.10 水
 vs 大宮アルディージャ 19:00kick off

一第13節 HOME
 ニッパツ三ツ沢球技場
5.6 月・赤
 vs SC相模原 14:00kick off

一第17節 HOME
 ニッパツ三ツ沢球技場
6.15 土
 vs FC岐阜 18:00kick off

一第2節 HOME
 ニッパツ三ツ沢球技場
3.3 日
 vs FC大阪 14:00kick off

一第6節 HOME
 ニッパツ三ツ沢球技場
3.24 日
 vs ガイナーレ鳥取 14:00kick off

一第10節 AWAY
 金沢ゴージャススタジアム
4.14 日
 vs ツエーゲン金沢 14:00kick off

一第14節 AWAY
 いわぎんスタジアム
5.18 土
 vs いわてグルージャ盛岡 14:00kick off

一第18節 AWAY
 プライフーズスタジアム
6.23 日
 vs ヴァンラーレ八戸 14:00kick off

一第3節 AWAY
 サンプロ アルウィン
3.9 土
 vs 松本山雅 FC 14:00kick off

一第7節 AWAY
 とうほう・みんなのスタジアム
3.31 日
 vs 福島ユナイテッド FC 14:00kick off

一第11節 HOME
 ニッパツ三ツ沢球技場
4.27 土
 vs 奈良クラブ 14:00kick off

一第15節 HOME
 ニッパツ三ツ沢球技場
6.2 日
 vs テグバジャー口宮崎 14:00kick off

一第19節 HOME
 ニッパツ三ツ沢球技場
6.29 土
 vs アスクラロ沼津 18:00kick off

NEXT GAME 神奈川県サッカー選手権大会 天皇杯 JFA 第104回 全日本サッカー選手権大会・神奈川県代表決定戦
 会場：レモンガススタジアム平塚
4.21 SUN 11:00ko vs 桐蔭横浜大学

横濱フットボール今昔～唐井直SFP～

Jリーグが未だなかった37年前。
 中区スポーツ少年団から育った若者たちが横浜の地に小さな種を播きました。それから37年間、横浜スポーツ&カルチャークラブ (Y.S.C.C.) は町クラブとして歩みを進め、2014年には新たに創られたJ3創設メンバーとしてプロリーグ参入を果たし、本年11年目の節目を迎えました。
 Y.S.C.C.創設に関わった一人の私は、一旦は、サッカー界を離れたましたが、その後Jリーグ設立と共にプロサッカークラブの強化担当、GMとして清水エスパルス、ヴェルディ川崎 (東京ヴェルディ)、ジェフユナイテッド千葉、FC町田ゼルビアで経験を積み、今般Y.S.C.C.に戻って参りました。
 フットボールと共に生きる年長者 (Senior Football People) としてホームゲーム毎に、フットボールにいま、むかしを綴ります。

4月17日 (水) ルヴァンカップ FC東京 本牧から世界へ

今日は、ルヴァンカップ2回戦。FC東京を迎えてのYSにとっては歴史的な一戦。
 首都東京のビッグクラブ。スペインで言えばレアル・マドリッドに町クラブから成長したYSCCが公式戦で胸を借りる。フットボールの世界の醍醐味。
 所属選手たちも豪華絢爛。海外で長く活躍しW杯4回出場を誇るご存じ長友佑都さん。
 2019年リーグMVP神奈川県出身の仲川輝人、バリ五輪目指すU23の中心松木政生選手など代表クラスを多く抱えるナショナルブランドとの戦い、皆さん今日はニッパツで楽しみましょう。
 さて、世界に羽ばたくという意味では、今日、日本代表選手たちの多くがヨーロッパのトップリーグでプレーしている。ブライトンの三苫薫、アーセナルの富安健洋、レアル・ソシエダの久保建英、スタッド・ランスの伊東純也など、それぞれがチームの中核を担って活躍している。
 中でも、リバプールの遠藤航さんの活躍は、世界最高峰のイングランド、プレミアリーグで優勝争いを繰り広げているチームの中心選手として、我々に勇気を与え続けてくれている。
 この遠藤さん、横浜市は戸塚区出身。南戸塚中サッカー部を経て、当時のユース監督チョウ・キジェさんに見いだされ、湘南ベルマーレのアカデミーに加入、トップ昇格、2014年神奈川県平塚市の中型クラブの雄であった、クラブのJ1昇格に貢献した。そして中型クラブの宿命、一旦は断った移籍であったが翌年 (2015年)、ビッグクラブ浦和レッズに引き抜かれていった。
 当時、湘南を去る際には、経営危機にあったベルマーレをここのクラブにした眞壁潔会長の前で男泣きしたという漢。
 昨年末の欧州ぶらり旅でも、偶然、ロンドンのスタジアムで大倉智さん (元湘南社長、現いわき社長) にばったり出会った。大倉さんこの後、チョウさんと合流して、“ワタル”の試合を観にリバプールへ向かうという。輝き続ける遠藤選手は、育んだ皆さんたちにも、“生きがい”を与えている。
 3月11日の首位決戦、リバプールvsマンチェスター・シティ戦でも献身的なプレーで、後半、ケビン・デブライネを交代に追い込み、試合のMVPとなった。あのデブライネですよ。戸塚から世界へ羽ばたいた遠藤さん。戸塚と言えば、オールドファンにはもう一人。
 奥寺康彦さん (舞岡中から相模工大付属 (現湘南工科大付属)、古河電工 (現ジェフ千葉) を経て、ブンデスリーガ、1FCケルンへ移籍。その後、プレーメンでも活躍、ディフェンシブMFとして、その勤勉、正確なプレーから“東洋のコンピューター”と称えられた。
 83年、ケルン体育大学にいた祖母井秀隆さん (ジェフGMとしてイヴィツァ・オシムさんを日本に招聘) 訪ねて、ドイツに二週間をほど滞在する機会があった。
 当時、ミスターヨーロッパと謳われたカールハイツ・ルンメニゲ (バイエルン・ミュンヘン) をマークした奥寺さん、ルンメニゲを封じ込め、リーグ週間ベストイレブンに選出され、日本人として誇らしかったこと、遠い昔のことながら思い出しました。本牧から世界へ。これからのYSの若い世代に期待したいと思います。

